

## ～ひだまり～

第3学年 学年目標

伸ばせ学力 鍛えよ心

第3学年だよ

第19号

## 期末試験終了 ～さあ、修学旅行へ！～

3年生にとって大切な、1学期の期末試験が終了しました。運動部で活躍している人たちは、最後の試合もあり大変だったことと思います。引退する最後の一瞬まで、まだ頑張っている人もいることでしょう。

月曜日は【領域診断テスト】があります。夏休みまであと1か月。テストの結果を受けて、【第2回進路希望調査】を取ります。ここからは、夏休みの三者面談に向けて準備が進んでいきます。修学旅行の準備も同時進行で本格的に始まります。夏休み前に「探究テーマ決定」「班活動のコース作成」をします。ひとつずつまとめをし、次に進みましょう。



↑ 離任式の手紙



↑ 部活動の壮行会

「高校の先生の話聞く会」  
～生徒の感想～

・やっぱり、高校の良さはホームページを見るだけではなく、その学校に実際に行って、自分で話を聞かないとわからないと思った。人に言われて行くよりも自分の目標や雰囲気をみて決めた方がよいと思った。

・私立と都立の説明を受けたけれど、力を入れているところや行事の様子も全く違うので、自分がやりたいこと、目指していることに合った高校を選ぶのが大切だと思った。

・都立高校の先生からは、たくさんの種類の都立高校について教えていただきました。

・私立高校の専門学科に興味をもちました。実習も多く、人と関わる経験ができるのはすごいと思いました。

## 今後の予定

日	予 定
23(月)	朝礼、安全指導 水泳指導始 ②～⑥領域診断テスト(コンパス・直定規) 放:修学旅行実行委員会
24(火)	①道徳 放:修学旅行実行委員会
25(水)	⑤修学旅行班事前学習 ※研修会のため再登校 16:10
26(木)	放:修学旅行コース係会
27(金)	⑥修学旅行班事前学習、コース決め
30(月)	Study week 開始 「努力のあしあと」配付 【第2回進路希望調査】7月7日(月)締め切り ※修学旅行席替え ※三者面談希望調査締切
1(火)	①道徳 ⑤カット、⑥小中連携部活体験
2(水)	⑤修学旅行コース決め 再登校 16:10
3(木)	専門委員会
4(金)	⑥修学旅行コース決め 漢検

## 教材費・修学旅行代金入金のお願い

6月27日(金)は教材費の引き落とし日となっています。銀行口座への入金のご確認をお願いいたします。

また、修学旅行代金をまだ、振り込まれていない方は、6月30日(月)までにJTBの口座にお振込みください。

なお、修学旅行についての保護者会は、7月9日(水)に行います。

# 沖縄終戦の日(1945年6月23日)に思う

前回ご紹介した、3年生の調べ学習のまとめです。戦後80年。ぜひ、ご一読ください。

生徒の書いた文章を、そのまま載せています。



## 問. 戦争が起こる理由や、戦争がなくなる理由を考えてみましょう。

- ・理解や歴史的な対立 宗教の違い 貧困と格差 政治的な不安定 国際協力の不足  
兵器があるから 領土の争い 資源の争奪戦 民族間や国家間歴史的な宗教紛争 経済的な要因 集団的な心理  
言語の違いで伝えたいことがうまく伝わらない。
- ・戦争が起こってしまうのは誰かが土地のことについて不満に思っていたり相手に納得のいかない理由があるからだ  
と思いました。なので戦争がなくなると思います。
- ・政治や経済、社会的な原因や、細かく言えば領土問題や資源の争奪民族間での対立などさまざまな原因がありますが  
大体は、今に不満があり平和的解決が望めないことや経済や周りの情勢が原因で心に余裕がない場合だと考えま  
した。
- ・国家同士の意見が分かれたり、資源が欲しかったりして戦争が起こる。また近年では今まで散々ひどい目にあわさ  
れてきた元ヨーロッパの植民地やアメリカに復讐のために戦争が起きている。
- ・国同士が話し合ではなく武力で問題を解決しようとするから。戦争をしている両国の信頼関係が築かれていない  
から。
- ・いじめと同じだから両方の武器を捨てて早く終わらせる方がいいが、両方とも自分は偉いと思いつけているから、  
バカなことをするようになってしまう。
- ・自分の国ばかり優先して相手や周りの人のことが見えてないから。政府の命令を聞かずに戦争をしたから。考えの  
違いを話し合わず発展したから。
- ・数に限りのある資源で貿易をしている中でどうしても厳しい条約であったりあまりにも理不尽な条約をしている  
国々と話が合わなくなるところがあるから。
- ・人や国の上に立っていた方が安定するから。国の発展具合やお金の差があるから。
- ・民族の異なる人たちの考えの違いから争いが起こる。国境が不明確。政権に対する不満を抱えた人々の反対運動利  
害や歴史的な対立によりなくなる。
- ・相手の国を自分たちのものにしようと考えている人たちが多から。国同士に限られた資源を求めて戦争が始ま  
る。また人間の欲望やエゴが考えられる。もっと力を持ちたい、もっと欲しい……。そうなると、戦争は終わら  
ないのだと思う。

## 問. 私たちが平和のためにできることは何だと思えますか。

- ・地域の外国人の方に差別せず、学校や何かで関わる機会があれば仲良くする。英語を学んで身近な外国人と世間話  
できるぐらいの英会話力を身につければ、より深く関われるし仲良くなれると思った。
- ・戦争や平和について学び、戦争の恐ろしさを知ることが大切だと思った。またその学んだ情報を身近な人に伝える  
ことも大切。偏見や差別をなくすることも大切だと思った。相手のことを思いやる気持ちをもつ。お金の余裕ができ  
たら募金活動などに協力することも大切だと思った。
- ・反戦運動を呼びかける。

- ・世界の状況に関心をもったり、紛争や貧困の原因を理解したりすること。人権の抑圧や差別などをなくすこと。
- ・核をなくす。平和学習を世界に広める。過去を忘れない。意見が対立した際は口で解決する。武力を人の争いに加えさせない。紛争や貧困などの理解を深める。日常に感謝をし、差別をせず平等に接する。みんな仲良くし優しさと愛をもつ。命の大切さを理解する。
- ・世界の状況に関心をもつ。核をなくす。若者に忘れないでもらうために広めていく。
- ・昔に起きた戦争をたくさん調べて、学び戦争について知らない人たちに戦争をしてたくさんの人を亡くしたことや、戦争中の貧しく怯えながら生きなければいけない苦しい生活などをもっと広めて、今がどれだけ幸せで恵まれているかを伝えていく。自分の命を大切にす。
- ・今の若い世代の各国の子供たちがインターネットなどを通じて交流すること。英語のレベルをもっと上げること。日本で言うと、日本人で英語を読み会話などしっかりできる人が少ないから、インドで言う数学のように教育のレベルを上げたい。だから全国的に教育の仕方を、海外を参考に直すべき。しっかりとした翻訳機能を開発する。Google 翻訳とか直訳してしまうものも多くあるからある程度伝わってもしっかり全部伝わらないと言うことが多い。僕はゲームでそれを通じてゲーム内で英語チャットをしあったりするので海外の方の大人子供限らずフレンドになって仲良くなったりしているので交流の大切さを感じます。DeepL 翻訳などで英語の意味を少なくとも理解して言いたいことを伝えられることが大切だと思います。
- ・命の大切さを世界中の人と共有する。ペットボトルキャップなど困ってる人の手助けをする。原爆のことについて調べてきたことを色々な人に知ってもらうようにする。どうしたら平和に暮らせるか不満が無くせるか考える。
- ・世界の情勢に興味を持ち紛争や貧困の原因を理解する。家族や友人 SNSなどで、意見を持ち寄り共有する。義援金や募金に協力したり発展途上国の生産物を、利潤を抑えた適正な価格で生産者が直接販売する製品を購入する。
- ・戦争は本当に起こしてはならないと後世に伝えること。この悲惨さを後世に伝え、なぜ起こしてはならないのかなどをよく伝えるべきだと思う。また平和は戦争のない世の中ではなく、日々色々な人が幸せでいられることが本当の意味の平和だと思う。そのため自分たちが平和のためにできることは、毎日幸せに生きることだと思う。
- ・国際的な紛争も紛争問題などに興味をもつこと。関連するイベントや募金などに参加してみる。選挙に行くなど積極的に政治に関わる。ボランティア活動チャリティーグッズやイベントへの参加。古着や靴などいらないけどまだ使えるものを寄付すること。
- ・ひとりひとりがこの世界を平和にしたいと思って、それを実行すれば平和になると私は思いました。
- ・戦争をふっかけられたからやり返すのではなく、他の国に助けを求めてでも平和的に解決できるようにする。平和の話を実際に聞かせるのがベストだが、どうしても難しいからそれぞれの地域で短くまとめたポスターを作って目にとまった人に詳しく聞けるように、続きが見られるサイトを作る。戦争というのは、やっていることは規模がとも大きいがきっかけは小学生や幼稚園生のちょっとした程度のことだということを知ってもらって、いろんな人がこのことについて呆れることによって、戦争を起こしたり起こそうとしている国が、その恥ずかしさを知ることによって止めることができると思った。
- ・普段の生活から差別用語などを言わない。戦争について悲惨さを伝える。
- ・差別発言をしないように日頃から心がけること。感謝はきちんと伝え自分が悪いことをしたのなら、無駄に反論せず素直に認め謝ること。お互いのことを見て受け入れ、思っていることがあるならちゃんと言うこと。人の意見を聞くときはいろんな立場になって考えること。災害や戦争を昔のこと自分は被害を受けていない生まれてない放置するのではなく当事者意識をもつこと。また後世に伝えていくこと。
- ・貧しい国のために寄付をすることや人が困っていたら手を差し伸べたり個人でも団体でもできることは全力でやっいていけることが平和のためだと思いました。また周囲や次世代の人々にも、平和のためにできることや貧しい国があること、世界の状況について理解させることで、国全体で平和について考えを出せるのではないかと思います。他にも政治の話や選挙に行くなど積極的に政治に参加することが良いと思いましたがこれからも周りで差別をなくすことや貧困をなくすなどどのような策で対処できるかを調べ平和のために自分から行動していきたいです。
- ・結論的には私たちだけでは完璧な平和は無理だと思った。なぜならこれに関してはもっと国と国同士が考えていかなければならない問題だし、私たちだけでは無理かもしれないから。だからこそ日本だけでも真剣に取り組み日本の国民で平和だと思うこととかそういうものを増やし外国とも分かち合ったりする。やはり小さなことからでも。

できることからやっていく。どういうことかという日本国内でも政治がどうかという問題があるからこそそこを解決して日本の治安をさらによくして外国を魅了してそこから日本の思う平和などをわかちあい日本だけでなく世界に平和を分かち合う。結果的に私たちができることは平和学習を通じて世界や日本について学ぶべきだと思う。

- ・まずお互いに思いやりをもって、喧嘩や争い事などを起こさず、違う考え方や価値観を尊重することが大切。学校や地域での小さな協力を大切に、平和の大切さを周りに伝えていくことが平和に繋がると思う。
- ・僕たちが行っているペットボトルキャップの回収や募金活動などに協力する。平和学習を通して世界の問題を知り身近なことから問題解決に努める。
- ・日本を客観視して戦争などは全体を見て考える。戦争の残酷さを次の世代に伝えていく。文化や宗教の考えの違いを認め合うこと。日本だけのくくりでなく社会で考えて他国を敵だと思わず一緒に発展する仲間だと思ふこと。競い合わないこと。
- ・今、世界ではどんな問題が起こっているかを理解する。人々への差別をしない。ボランティア活動に参加したり貧困をなくすために募金をしたりする。身近な人と平等に接する。周りの人とのコミュニケーションを大切に、困っている人を助ける、という意識をもちそれを行動に移す。私は人々が幸せに暮らせる。誰もが受け入れられる社会を望んでいます。平和学習を通して世界のことを知り助け合っ問題解決できるようにしたいです。
- ・平和について知ること。戦争について知ること。人間ひとりひとりを尊重する。いろんなことをたくさん経験してたくさん吸収すること。人間関係を大切にそれから得られるヒントを使ってどうしたら平和に一步近づくのかを考える。世界で起きているテロ紛争でも他人事とは思わず自分にも関係あると思うこと。他人の意見を尊重して積極的に意見を取り入れる。平和学習で学んだことを自分だけでなく他の人に話したりして他の人の平和運動に対する考えや思いを知ること。
- ・私たちができることは今やっているペットボトルキャップの回収や募金活動など困ってる人への助けだと思います。平和学習を通じて世界の問題を知り自分ができることを考え人助けをしていきたいと思いました。

会話を大切に。今瑞三の三年生の中には外国から日本に引っ越し学校に通って来てる子がいるからなるべくたくさんの友達と話し仲の良い関係を築いていきたい。周りの同級生や後輩に優しくする。やっぱり優しさから平和は来ていると思ったから誰とでも仲良くできるようにすれば良いと思う。最後にこの平和学習を続ける。昔あったことを調べて話し合いをすれば絶対にやだ、もうこんなことしちゃダメって思えるようになるから昔のことについてみんながわかれば平和になると思った。



## 第45回 江戸川区 原爆犠牲者追悼式のご案内

昨年度も、親江会の方からお誘いがあり、代表生徒3名が、江戸川区長さんを始めとする大勢の大人の前で、発表を行いました。

今年もお誘いがありましたので、参加しようと思います。参加希望者は、大瀧まで申し出てください。式場で、発表を聞いてくださった方々からは、たくさんのお褒めの言葉をいただくとともに、「若い人たちが考えて行動している姿に感動しました」と感謝の言葉もいただいています。

皆さんの、鶴をみんなで折る姿、素敵でした。あっという間に1000羽。テスト後には2000羽をめざして。想いを込めた千羽鶴を式典で献架したいと思います。

瑞江三中の生徒には、国際社会に目を向け、大きく羽ばたいてほしいと思います。